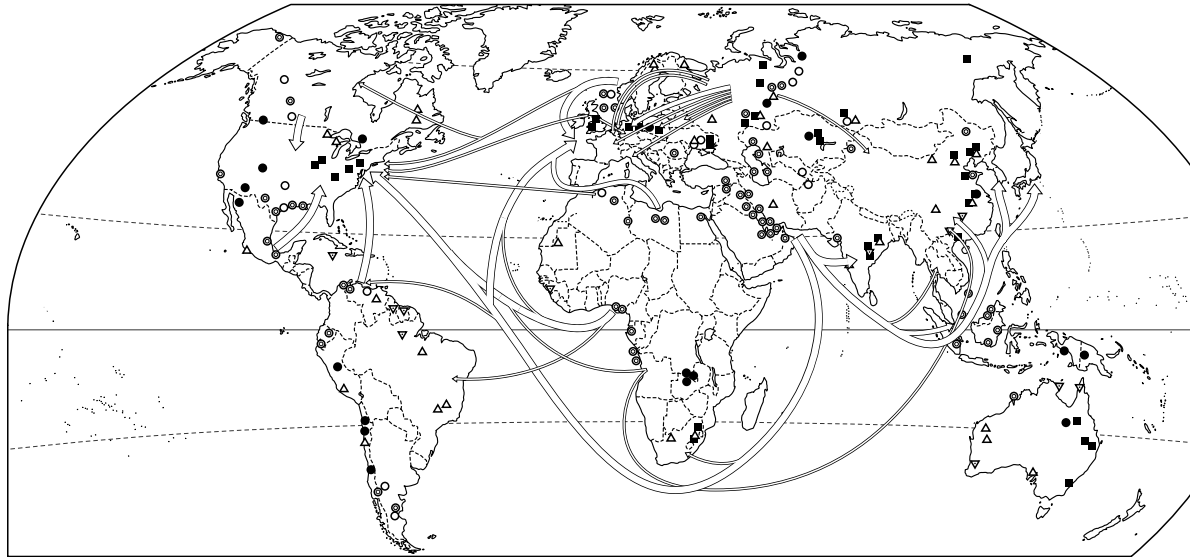


資源を極める！

ウォーミングアップ！

資源の偏在 ●世界のどこに何の資源があるか、まとめてみよう。

おもな資源の産出



1. 図中の各記号は何をあらわしているか。下からあてはまるものを選び書き入れよう。

- ◎ () ● () △ ()
- ▽ () ○ () ■ ()

[資源名]	原油	ボーキサイト	鉄鉱石	銅	石炭	天然ガス
-------	----	--------	-----	---	----	------

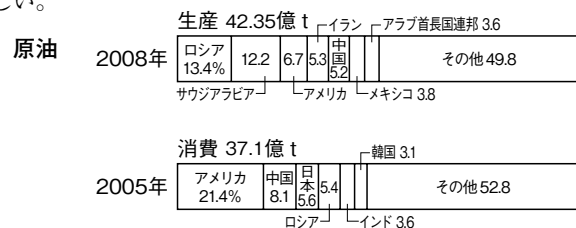
2. 図中の矢印は、原油の移動をあらわしている。原油は、おもにどのようなところで生産・消費されているか、確認しながら矢印を青色でぬってみよう。

3. () にあてはまるものを下から選んで書き入れ、まとめてみよう。

①資源の分布は、地体構造との関連がみられる。たとえば、鉄鉱石は (a)、銅は (b)、石炭は (c) に多く分布している。また、ボーキサイトは熱帯地域に分布する傾向がある。原油は背斜構造 (つまり褶曲している地層の波の山の部分) に分布し、天然ガスも原油と同時に存在する場合が多い。

②原油の生産は、ペルシア湾を中心とした (d) 地域に集中している。しかし、生産量が最大の国はこの地域にはない。2008年には (e) がアラビア半島の (f) を抜いて第1位となった。3位はアメリカ合衆国である。なお、消費は、下のグラフによると第1位が (g)、第2位が (h)、第3位が (i) である。また、世界の原油消費量の増加と国別消費量の変化にも注目したい。新興国といわれている国々の伸びが著しい。

新期造山帯	古期造山帯	安定陸塊
中東	ロシア	サウジアラビア
日本	中国	アメリカ合衆国



年 組 番 名前

ステップアップ！

エネルギーのうつりかわり

1次エネルギー供給量の上位10か国 (2006年)

1. 石油、石炭、天然ガスの化石燃料や、原子力、水力、地熱などの加工されていないエネルギーを1次エネルギーという。なかでも経済成長の著しい新興国での供給量が増えている。それらの国は、頭文字をとりBRICs (ブリックス) とよばれる。頭文字にあわせて、右の表から4か国を抜き出してみよう。

- B ()
- R ()
- I ()
- C ()

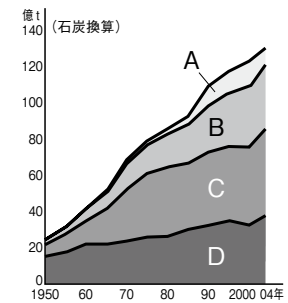
	国名	(万 t)
1	アメリカ合衆国	232,070
2	中国	187,874
3	ロシア	67,620
4	インド	56,582
5	日本	52,756
6	ドイツ	34,856
7	フランス	27,267
8	カナダ	26,974
9	イギリス	23,113
10	ブラジル	22,413

世界国勢国会 2009/10

2. 右のグラフは、世界のエネルギー消費量の推移をあらわしている。A、B、C、Dは、下のどれを示すか下から選び、() に書き入れよう。

石油 天然ガス 石炭 水力、原子力など

- A ()
- B ()
- C ()
- D ()



世界のエネルギー消費の推移 (2004年)

3. 下の文章の () にあてはまる用語を下から選び、書き入れよう。

18世紀の産業革命以来、世界のエネルギーの中心は、(a) であった。20世紀になって自動車の普及とともに (b) の需要が伸び、1960年代以降 (b) への転換が進んだ。これを「(c) 革命」という。しかし、1970年代の (d) をきっかけに石油代替エネルギーが関心を集め、石油や石炭に比べ、大気汚染の原因となるNOxや地球温暖化の原因の一つといわれるCO₂の排出量が少ない (e) の利用が進んだ。しかし、これらはすべて (f) 燃料であり、クリーンなエネルギーといわれる (g) が注目を集めているが、これらは、コストや効率、安全性などの課題をかかえている。

オイルショック 化石 エネルギー 石油 石炭 天然ガス 水力・原子力など

4. 「代替エネルギー」と「再生可能なエネルギー」に関する表の空欄を、下から選んで書き入れよう。

代替エネルギー	(h) 燃料	とうもろこし・さとうきび利用…… (i)
再生可能なエネルギー	(k) 発電・(l) 発電・(m) 発電	家畜排泄物・生ごみ・木くず利用…… (j)

太陽光 バイオマス バイオ 風力 地熱 バイオエタノール

ジャンプアップ! 資源事情の新しい動き

1. レアメタルの登場

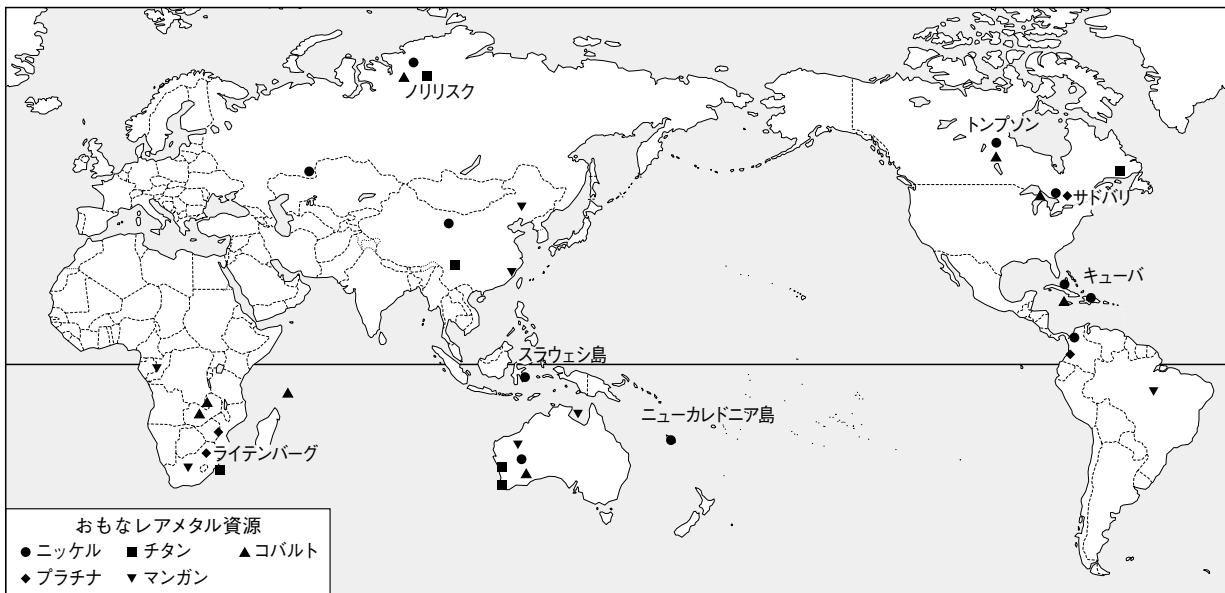
レアメタルは次のア、イ、ウの性質をもつがその名前の由来となったのはどれか、一つ選び記号に○をつけよう。

- ア. ハイテク製品に少しずつ使われているから。
- イ. 地球上に少しの量しか存在しないから。
- ウ. 世界の限られた地域にしか分布しないから。

2. レアメタルが多く埋蔵されているのはどこか、下の地図から読みとり、() に書き入れよう。

レアメタルは、中国、ロシア、オーストラリア、カナダと () 大陸の南部に偏在している。

おもなレアメタルの分布



3. レアメタルの使われている身近な製品には、何があるかあげてみよう。

()

4. 「資源ナショナリズム」の広がり

下の文章の () にあてはまる用語を下から選び、書き入れよう。

新興国のめざましい経済成長であらゆる地下資源の需要が急増し、各国にとってエネルギー資源の確保は最重要課題の一つである。資源国は自国資源を管理・開発する「資源ナショナリズム」の動きを強め、日本のような資源が乏しい国は確保が難しくなりつつある。

早くには、1960年に中東産油国が (a) を結成して、利益を独占していた (b) つまり国際石油資本に対抗した。近年では、代表例は (c) である。2005年頃から石油や天然ガスの国有化を推進し、外国が資源開発を行う場合、出資の過半数は (c) 資本であることが義務づけられている。南米の (d) も外国資本が採掘する油田を政府系企業に移すことを義務づけた。レアメタル大国 (e) も、レアメタルに対し、輸出制限したり、付加価値をつけて高値で売りつけている。さらに (e) は、アフリカを舞台に経済援助の見返りに原油輸入や油田開発の権利を得る政策を続けており、批判を浴びている。

石油メジャー 中国 OPEC ロシア ベネズエラ

解 答

ウォーミングアップ!

1. ◎ (原油) ● (銅) △ (鉄鉱石)
 ▽ (ボーキサイト) ○ (天然ガス) ■ (石炭)

2. 解答 略

3. ① a (安定陸塊) b (新期造山帯) c (古期造山帯) d (中東)
 ② e (ロシア) f (サウジアラビア) g (アメリカ合衆国) h (中国) i (日本)

ステップアップ!

1. B (ブラジル) R (ロシア) I (インド) C (中国)
 Brazil Russia India China

2. A (水力・原子力など) B (天然ガス) C (石油) D (石炭)

3. a (石炭) b (石油) c (エネルギー) d (オイルショック)
 e (天然ガス) f (化石) g (水力・原子力など)

4. h (バイオ) i (バイオエタノール) j (バイオマス) k (太陽光) l (風力)
 m (地熱) k、l、mは順不同

ジャンプアップ!

1. イ

レアメタルのレア rareは「希な」「珍しい」の意

2. (アフリカ) 大陸

3. 使用製品例 (携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、液晶テレビ など)

4.

- a (OPEC) b (石油メジャー) c (ロシア) d (ベネズエラ) e (中国)